

## 第1回西脇市特別職報酬等審議会 会議録要点

- 1 開 会 略
- 2 市長あいさつ 略
- 3 委嘱状の交付 略
- 4 委員自己紹介 略
- 5 会長・副会長の選出について
  - 住民の代表として竹内委員が適任と考える。  
(異議なしの声)
  - ※会長は竹内泰彦委員に決定
  - ※副会長は会長の指名で齋藤委員に決定
- 6 諮 問  
西脇市特別職報酬等の額について
- 7 審 議
  - <会議の公開・非公開について>
    - 自治基本条例や情報公開の観点も考慮しつつ、報酬という直接お金が絡むこともあり、公開では意見を出しにくい。議事録のみを公開すれば良いのではないか。
    - 県内や類似団体の状況を考慮し、2年前と同様に、会議は非公開、議事録(要点)は発言者を非公開とし公開として取り扱うことで良いか。  
(異議なしの声)
  - <市長、副市長、教育長の給料について>
    - ※事務局から県内の状況及び類似団体の状況を説明
    - 現在の減額理由は何か。
      - ⇒東日本大震災の復興財源に当てるための一般職員の給料減額措置にかんがみ、市長が10%、副市長及び教育長が5%の減額をしている。
    - 資料ではもっと高い率の減額をされているところもある。
    - この審議会で決定された報酬の額を無視し、理由もなく3割、4割減額するのは、単なるパフォーマンスである。独自減額の範囲は、5%の範囲に抑制すべきである。
    - 期末手当の3.85月(年間)は、市内の企業と比べても高い気がする。
    - 民間企業は、業績に直接左右されることとなり、良いときもあれば悪いときもある。ところが、公務員の場合は、極端に変動することはなく、緩やかなものとなっている。
    - 市長は、休みなく365日働いておられる。市民から常に見られて

おり激務であるといえる。

- 年収が 1,000万円を超えると税金も高くなり、手元には額面どおり残らない。
- 市長の今の年収であれば、大手民間企業では社長より下のレベルになる。
- 市長の給料が安いのは、みっともない話である。
- 2年前と比較しても地方の経済状況は、変動していないようなので現状維持が良いと思う。このご時世給料を上げる状況ではない。

<議長、副議長、議員の報酬について>

※事務局から県内の状況及び類似団体の状況を説明

- 月給はそこそこでも年俸換算するとかなり多いのではないか。民間は、手当が多いが本給が安いので余計に差がある。なぜ、期末手当3.85月（年間）がこんなに多くでるのか。
- 長期欠席すると、支給停止になる制度は、設けてある。
- 政務調査費の状況はどうなっているのか。  
⇒年間44,500円 県内でもかなり低い額となっている。
- 大きな行事でも欠席されている議員がいるように思う。選挙がなかったせいなのか。
- 選挙のときは、一生懸命だと思うが、今回は選挙がなかったのもそれもなかった。
- 地域医療をまもる条例など議員提案しているのは評価する。
- 全く発言しない議員もいるが、選挙で選ばれた事実があるので、最後は、我々が判断しないとイケない。
- 議員の今の年収は、大手民間企業では課長クラスに相当する。
- 議員も市長と同様に、365日議員であり、出役の度合いで判断するものではないと思う。
- 報酬を下げすぎると、若い人で議員になろうとする者がなくなるのを危惧する。若干高くても良いのではないか。
- 責任の度合いや労働の対価として判断する必要がある。
- 議員報酬は減額しているのか。  
⇒減額していない。ただし、定員が18人から16人へ2名減員となった。
- 住民から見るとはっきりいって高いと思う。地域において顔や仕事が見えない。
- 議会だよりが発行されているが、誰もちゃんと読んでない。読まない我々も悪い。
- 若くて元気のある議員が多くなってほしい。

- 一生懸命、活動している議員とそうでない議員もいる。
- 議員報酬についても、県内で真ん中程度である。
- 議員は、事務組合の議会に出れば何らかの報酬がでているのではないか。

⇒西多可行政事務組合、北播磨清掃事務組合の年間報酬額  
議長 16,000円、副議長 15,000円、議員 14,000円、  
監査 7,000円

- 本日の審議会での意見を参考にしていただき、次回、答申をまとめたいので、委員各位の意見を整理していただきたい。

< 次回の開催について >

- 平成26年2月3日（月） 午後4時30分から  
生涯学習まちづくりセンター  
会議室2

委員の署名 (会長)

竹内泰彦

(副会長)

齋藤大紀雄